

「麻疹《HI》」検査受託再開のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記検査項目の検査試薬の原材料であるアフリカミドリザル血球の供給不足により、2018年5月7日(月)受付分より、検査の受託を一時中断させていただいておりましたが、血球の供給が再開されるとの連絡がございました。

これにともない、下記受付分より、検査受託を再開させていただくこととなりましたのでご案内申し上げます。

また、本検査におきまして、稀に検体量不足になる場合がございますので、検体必要量を、血清 0.2mL から血清 0.3mL に変更させていただくこととなりましたので、あわせてご案内申し上げます。

大変ご迷惑をおかけしましたが、今後ともお引き立て賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬 白

2018年7月

【記】

◇検査受託再開項目

麻疹ウイルス HI法 (項目コード：4275)

※ 検体必要量を血清 0.2mL から血清 0.3mL に変更させていただきます。

受託再開日：2018年7月26日(木)受付分より

※ 今後の試薬供給に関するお知らせ

アフリカミドリザル保存血の安定供給は、依然困難な状況にあり保存血の供給不安は本年、来年も続き発生する可能性があります。このため、下記理由により引き続き EIA 法もご利用頂きますようお願い申し上げます。

国立感染症研究所感染疫学センターから出されている「医療機関での麻疹対応ガイドライン(第六版:暫定改訂版)」では、麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法として、EIA法が推奨されています。また、赤血球凝集抑制法(HI法)は、EIA法より感度が低く、免疫の有無を検査する目的には推奨できないと記載されています。